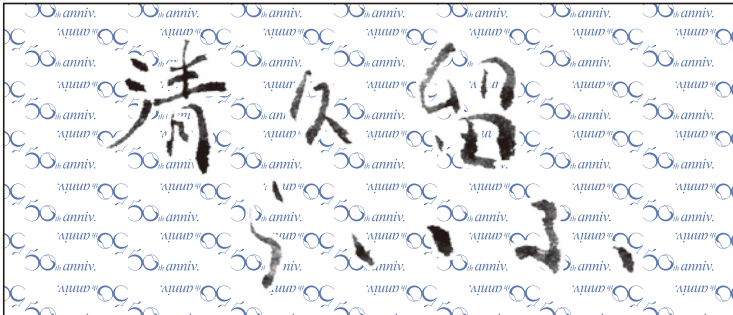


祝600号

今冬に記念交流会開催



発行所

東京土建一般労働組合

清瀬久留米支部教育宣伝部

〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17

TEL 042-473-8751

FAX 042-473-8753

発行者 尾 芦 富 雄

編集者 滝 澤 康 平



▲袋いっぱいじゃがいもが掘れました

6月14日(日)第3回じゃがいも掘り交流会が開催されました。途中には農家さんのご厚意で大根掘りものの体験もさせていただきました。10時に支部集合、八幡町の畑に47人が参加しました。立派なじゃがいもや大根を袋いっぱいになるまで収穫して畑での体験を終えました。今年もご協力いただいた農家の山下さんありがとうございました。

子どもたちも夢中 じゃがいも掘り交流会

▼じゃがいも掘り
歩いて畑に向かい、じゃがいも掘りがスタートすると参加した子どもたちは夢

▼交流会
じゃがいも掘り終了後、支部下で肉じゃが、ポテト

チップス、ポテトサラダ、カレーライス等数々の料理(組織部主体の裏方料理とは



▲交流会開催のあいさつをする畑田組織部長



▲沢山のじゃがいも料理が振る舞われました

いえ、元塩分会の木村分会長、木村直子夫人)の腕を振舞っていたいただきました。やはり主婦の力は強い(主婦の会の復活を強く思いました)また、若手青年部のメンバーも多く参加してくれて、元青年部長の佐藤君が青年部の春の新歓交流会に来るよう誘っていました。

いろいろありました。が楽しく交流できたと思います。来年はじゃがいも掘りはやらないかもしれませんが、ほかのなにかでまた皆さんと交流できたらと思います。

組織部長 畑田 義次

安全標語コンクール2026 結果発表

今年度の支部安全衛生活動の始めとして、支部の安全スローガンを決める安全標語コンクール2026を開催しました。多数の仲間に応募をいただき31語の安全標語から82票の投票で優秀作品が決定しました。尚、佳作は票数が同数だったため2語から3語に変更しました。今回の最優秀作品を東京土建本部の安全標語コンクールへ応募いたします。応募、投票にご協力いただきありがとうございました。入賞者へ賞品を7月～8月にお渡しさせていただきます。

賞品
最優秀賞…商品券7千円
優秀賞…商品券5千円
佳作…商品券3千円



最優秀作品賞

安全は 一人ひとりの心がけ
(三葉分会 笹原 康弘さん)

優秀作品賞

無事故が現場の金メダル
(清里分会 古名 優明さん)
まあいいか その油断こそ 命取り
(元塩分会 渡邊 純一さん)

佳作

段取りで 老いも若きも ゼロ災へ
(三葉分会 大久保 真知子さん)
「これぐらい」が 事故を呼ぶ
(三葉分会 川村 穂乃さん)
朝の点検 まぶたに浮かぶ家族の笑顔
(清里分会 古名 孝二さん)

なくそう!熱中症 熱中症対策学習会

5月25日(月)支部会館、WEB併用で熱中症対策学習会を開催しました。当日は全体で25人が参加しました。

本部の砂川常任中執が講演を行い、熱中症への対処や予防の方法、過去の事故事例などを見ながら対策について学びました。参加者からは「他の作業員とお互いに行動が分かれば防げる。」一人にならず声を掛け合って事故防止に真剣に取り組みたい。「自分の為だけでなく一緒に働く仲間の為にも勉強するべき」「材料の関係で仕事が出来ない。仕事が出来なくなると、体が暑さに慣れていない心配がある。」などの感想がありました。

今年の夏も大変暑くなる事が予想されます。重大な事故が起きる事のないよう熱中症の予防に努めましょう。

書記局 池崎 健司

今年も全分会が開催 KIYOKURU BASECAMP



▲議論が白熱した清瀬3分会



▲木っ端トイに夢中の子どもたち

6月7日(日)に第30回東久留米市環境フェスティバルに参加しました。環境フェスティバルは毎年の環境月間に合わせて開催されており、今年で30回の節目を迎えました。清瀬久留米支部もここ最近毎年参加しており、今年も9人が運営に一日協力してくれました。

今年「木っ端トイ」で参加しました。「木っ端トイ」は現場で余った材木を細かく刻んだものを使って、自由にボンドで接着しておもちゃをつくる企画です。住宅デーや東京土建の日でも実施し、来場者に人気の企画でした。日曜日は雨が心配される中での開催となりましたが、当日は87人の子供たちが楽しく木っ端トイを制作しました。参加した子供たちは、たくさん木っ端を上手に接着して思い思いの作品を作ってくれました。

体験コーナーは仕事対策部員が中心となって運営しましたが、初めて参加してくれた仲間もあり、新しいつながりも生まれた取り組みとなりました。

仕事対策担当書記

本島 厚司



▲今年も仕事対策部を中心に運営しました

87人の子どもが木っ端トイに参加 第30回環境フェスティバル

5月、6月に各分会がそれぞれ日程を設けて「KIYOKURU BASECAMP」が今年も開催されました。今年も分会ごとに話し合うテーマを選び議論を深める方式でした。

●青空分会

5月24日に先陣を切って開催した青空分会では、KIYOKURU運動の大切さが話し合わせ、新しい仲間が参加できる交流会を増やしていきたいという意見が生まれました。

●南町分会

5月31日に開催されました。自転車の青符制度が導入されたことに関するテーマで話が盛り上がり、違反の種類が多くて知らないことも多いので学習会の開催などがあつた

●滝山分会 北浅分会

5月24日に合同で開催しました。合同で開催したこ



▲青空分会の様子

●清瀬3分会

清瀬3分会(元塩・松竹・清里)は5月31日の午後か

●三葉分会

三葉分会は6月21日の開催でした。「組合活動に興味を持ってもらうにはどうしたらよいのか」という話題が中心になり、人と人とのつながりが重要であり、対話を増やすように努力する必要がありますという意見がありました。

ら合同で開催。午前中には元塩分会が組合員訪問を実施。その経験をもとに午後は訪問行動の経験の共有や清瀬3分会での合同訪問行動の案などが出されました。

あらかると

最近
見かけなくなりました



▲「あらかると」初投稿の川瀬さん

先日仕事で市街地を走行中いきなり少年が飛び出してきました。今回本当にギリギリ回避できて良かったのですが、後1秒ずれていたらと思うと本当にぞつとします。安堵と同時に一言注意しなければと思ひ少年に対し「急に出てきたらダメだぞ」ちよつと語気を強めに言いました。その後すぐ走り出してしまい少年の表情は確認出来なかったのですが、昨今他人の子に強く注意する人が居なくなった様に思います。所謂「カミナリオヤジ」ですが

以前はいっぱい居ました。皆さん現代でも必要だと思いませんか？例えば子供達に悪さをすれば誰かに怒られる等心の中に少しでも残れば不幸な事故が減ったり、昨今よく耳にする闇バイトに若い人たちが巻き込まれずに済むといった効果が有ると思うのです。他人の子に注意する事は勇気も必要です！ある種のリスクも有りますが、悪い事は悪いと堂々と言える環境に成れば良いなと思ひました。

滝山分会 川瀬亨

自転車ルール 理解できてますか？

4月から自転車の青符制度が始まりました。導入後の青符告知件数は月に2000件を超えています。

支部では自転車ルールに関する周知の強化を進めています。左のQRコードを読み取ると主な違反と反則金の紹介や、自転車保険の紹介を見ることができます。是非ご覧ください。

厚生文化部

